

2023年4月18日

森下仁丹株式会社

報道関係者各位

「鞆の浦観光鯛網」への協賛を実施

森下仁丹株式会社（本社：大阪市中央区／代表取締役社長：森下 雄司）は、創業者 森下博（1869～1943）の生誕の地、広島県福山市の鞆の浦にて、2023年4月28日（金）～5月7日（日）まで開催される「鞆の浦観光鯛網」に協賛いたします。

森下博は、1923年に開催された第1回観光鯛網を支援し、観光鯛網は本年の開催で92回目の開催となり、鞆の浦の初夏の風物詩と呼ばれるまで成長しました。今後も、銀粒仁丹をはじめとした当社製品だけでなく、さまざまな取り組みを通して、次の健やかさや豊かな暮らしに貢献してまいります。



■鞆の浦と森下博・森下仁丹とのつながり

森下博は鞆町・沼名前神社の宮司の家に生まれ、会社創業・仁丹発売後は、鞆の浦の観光鯛網への資金援助や奨学資金の創設、社寺の改修費の寄付など、地元の発展に腐心しました。鞆の浦では森下博の取り組みに応え、沼名前神社に森下博の寿像を建立し、現在でも像は「仁丹さん」の愛称で親しまれています。そのほかにも、共催イベントの実施、当社の「大礼服マーク」入り町名珉瑯看板の設置、学校教育の題材に森下博を取り上げるなどの活動を行っており、森下仁丹は今後も鞆の浦の発展に寄与していきたいと考えています。



鞆の浦鯛網案内

（過去資料）

■当社ゆかりの地域への支援活動について

当社は、創業者 森下博の生誕の地である広島県鞆の浦との繋がりを大切にしています。これまでも地域発展の一助となるべく、様々な活動を続けてきました。当社社長も現地の鞆の浦に赴き、江戸時代から続く伝統漁法「鯛しばり網漁法」の豪快さや地元の賑わいを体感しました。今後も鞆の浦をはじめ当社とゆかりある場所との絆を一層深めながら、地域活性はもちろん伝統の継承や文化資産の保全に貢献していきたいと考えています。

■「鞆の浦観光鯛網」とは

「鞆の浦観光鯛網」とは、約 390 年前の伝統漁法を再現した催し物です。鞆の浦は、春にマダイが産卵のために帰ってくるため、そのマダイの魚群を待ち構えて獲る「鯛しばり網漁法」が盛んです。さらに、複数の鯛網船団からなる威勢のいい樽太鼓の音と大漁節が響きあい、乙姫が船上で大漁祈願の舞を踊るなど、イベントとして親しまれています。

<概要>

- 開催日 : 2023 年 4 月 28 日(金)～5 月 7 日(日)まで毎日開催
開催時間 : 11 時 00 分～(全日 1 回のみ) ※完全事前予約制
イベント特典 : 抽選で鯛・保命酒のどちらか 1 点をプレゼント
鯛網で捕れた鯛・小魚を特価で即売
鯛網終了後、鞆の浦史跡めぐりを無料案内
鯛網観覧券提示で自動車時計博物館に無料で入館できます。
※2023 年 12 月 31 日まで
乗船場所 : 仙酔島乗船場 (住所: 〒720-0202 広島県福山市鞆町後地)
所要時間 : 約 1 時間 10 分
ホームページ : <https://www.fukuyama-kanko.com/travel/taiami/>

※詳細はホームページをご確認ください。